

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 番紅花

新訂和漢薬 記載頁

555

基源 番紅花: アヤメ科サフラン *Crocus sativus* L. の雌蕊頭.

部位 雌蕊頭.

作用 無毒. 活血 [本草綱目, 満洲漢薬], 令人心喜 [本草綱目], 止痛, 通経 [和蘭薬鏡, 満洲漢薬], 消腫 [満洲漢薬], 催睡, 麻痺, 鼠透, 鎮痙, 解凝, 発汗 [和蘭薬鏡].

応用 心憂鬱積, 気悶, 驚悸, 傷寒発狂 [本草綱目], 神経熱, 肺病, 欬嗽, 痘瘡, 産後昏暈, 疝腹痛, 腎痛 [和蘭薬鏡], 婦人諸症, 金瘡 [満洲漢薬], 吐血, 痞結 [本綱拾遺].

処方

備考 別名: 西紅花, 蔵紅花 [本綱拾遺], 雜腹蘭 [遠西名物].